

## 第4章 研修視察（千葉県市川市）

さいたま市においても予定されている都市景観形成計画の策定や市民と行政との協働によるまちづくりについて研修するために、千葉県市川市を視察しました。その概要は次のとおりです。

日 時：平成 17 年 11 月 18 日（金）

視察の行程と概要：

### （1）市川市役所

#### 市民活動支援について

市川市における市民活動支援制度「1%支援制度」について、市担当者から説明を受けました。これは、ボランティア・NPOなどの支援を必要とする団体が活動計画を市に提出し、納税者の投票を経て、個人市民税額の1%が団体に補助金として支給される制度とのことです。

団体活動の活性化という直接的な効果のほかに、税の使途に対する関心の向上、地域における市民活動への理解の広がりなど、さまざまな効果が上がっているそうです。

#### 景観まちづくりにおける市の取り組みについて

市川市では、都市化の進展により自然や歴史的街並みが失われつつあることから、平成16年に景観基本計画を策定し、さまざまな取り組みを展開しています。

市は、行政による先導的取り組みだけでなく、市民による自主的な活動を育てていくことが望ましい景観の形成につながる、という観点から、積極的にまちづくり活動を支援しているそうです。

現在は、景観法の制定を受けて景観行政団体となり、景観まちづくり条例などを制定するとともに、市民の自主的な景観まちづくり活動の活性化に向けて、さらに力を入れているとのことです。



## ( 2 ) 市川市旧行徳地区

### 旧行徳地区まちあるき

地域のまちづくり活動団体である「行徳てらまち会」、および市川市都市計画課の皆さんの案内で、旧行徳地区を歩きました。

旧行徳地区は、成田街道の宿場町、寺社の多い寺町として発展した歴史的情緒豊かな地区ですが、近年では市街化により風情の喪失が懸念されている地区です。

徳川氏にゆかりのある寺や古径、数百年にわたって地域を潤してきた用水、成田参詣の人々が行きかかった街道などが残っていますが、今後は、これらの資源を守り、活かしながら、地域の魅力を高めていくことが課題だそうです。

### 本行徳公民館での意見交換

「行徳てらまち会」の皆さんからお話を伺いました。この「行徳てらまち会」の前身は、市の呼びかけで平成 14 年に発足した「徳願寺周辺地区景観まちづくり検討会」であり、現在は市やコンサルタントのサポートを離れ、独自に運営されているそうです。

「行徳てらまち会」の皆さんは、地域住民の自発的取り組みにより、活動を根付かせ、少しずつ輪を広げていくことが大切と考え、景観計画策定に関する市への提案のほか、景観シンポジウムの開催、まち回遊展への協力、地域の花植え活動等を行っているそうです。

また、まちあるきの最中に見かけた案内サインは、「行徳てらまち会」が市に提案して設置されたものだそうです。このように、提案が実現され、目に見える形となることも大切だと感じました。

